

沢地小学校区 きずなづくりトークの意見概要と方向性

(※●は市の回答)

10月22日 市民体育館

地域	現況・課題	今後の方向性・要望
光ヶ丘1丁目	○例年とさほど変わりなかった。 ○保存食のスティックパンを期限切れのためみんなで試食したが、好評だった。	○訓練の内容、時期を変えるなど検討の余地がある。 ○もっと自主的に取り組める訓練にしたい。
	○電気・ガス・水道などのライフラインがどうなるか心配だ。 ●阪神淡路大震災のとき、しっかり確認せずに送電したことで、火事がたくさん起きた。(市長)	●被害想定の中に電気・ガス・水道のことが書かれているので参考にしてほしい。(市長) ●ガスの耐震化は行っている。(市長) ●水道の耐震化は進んでいないので、まず水はこないとってもらいたい。(市長)
	○1丁目は戸建て住宅で高齢化が進んでおり、訓練を活発に行っていない。	○震災が起こったときの行動計画書を作成中である。
沢地	○他の町内がどんな訓練をやっているのか知りたい。	○もっと実践に即した訓練をやる必要がある。 ●防災訓練の事例は県の防災センターに問い合わせてもらいたい。(市長)
富士見台	○例年800人程度の参加だが、今年は1000人越えの参加があった。震災による関心の高まりか。	○訓練内容、時期の変更が必要である。
	○自治会館には防火水槽があるが、飲料水として利用できない。 ○沢地地区は水が豊富である。	○市でボーリングするなどして水を確保できるようにしてほしい。 ●一番お金のかからないのは各家庭で水の備蓄を行うことである。(市長)
	○ほとんどの家が建築基準をクリアしている。	
富士ビレッジ	○例年より多い130名の参加があった。南海トラフ地震の想定直後だったためか。	
	○暑い時期の実施で、高齢者が多いので大変だった。	○実施時期の見直しが必要である。

	<p>○夏に市の防災コーディネーターに来てもらって危険マップをもとに避難誘導の検討をした。</p> <p>○急傾斜地の個別の被害想定はできないのか。</p>	<p>●自然現象なので想定は困難である。臨機応変に適切な対応をしていく必要がある。(市長)</p>
千枚原	<p>○毎年同じような訓練が行われている。</p>	<p>○地震を予知できるのならそれに合わせて訓練内容の再検討をする必要がある。</p> <p>●静岡県では170くらいの予震計があり、24時間気象庁で観測しているが、予知できるかは非常に難しい。(市長)</p> <p>●今回の9月初めの訓練は予知できたことを前提とした訓練だった。12月初めの訓練は突発型の訓練である。(市長)</p>
	<p>○各家庭で米など備蓄があると思うので、水さえあれば食料に困らないだろう。</p> <p>○沢地は水脈があるので、いくつか井戸を掘れないか。</p>	<p>●震災時、井戸は役に立つと思うが、掘り賃がかかると思うので、今後研究していきたい。(市長)</p>
光ヶ丘3丁目	<p>○3丁目の訓練は非常に後れている。</p> <p>○参加者が例年より増えた。特に子供の参加が増えた。子供たちは消火器訓練を行う。</p> <p>○市の方で、消火器の詰め替え、非常用品の点検をやらしてもらったのはよかった。</p>	
	<p>○75歳以上が100人もいる。全体の20%は高齢者である。</p> <p>○高齢者は避難が容易ではない。</p>	<p>○自宅待機、近所のしっかりした家の近くに集まるなど避難方法の検討が必要である。今後の高齢者の防災対策が気になりである。</p>
光ヶ丘 県営住宅	<p>○団地なので建物自体の耐震補強は難しい。</p> <p>○各家庭で家具の固定などできることをするようにすすめているが、それさえも難しい場合がある。どうしたらよいかわからない。</p>	<p>●家具の固定対策として、物が倒れてこない場所に寝るようにする。(市長)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ○食料の備蓄は自治会単位ではできない。各家庭での用意をお願いしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●食料の確保も大事だが、水の備蓄も重要である。水の備蓄の呼びかけをしてほしい。(市長)
	<ul style="list-style-type: none"> ○簡易トイレの用意をしている。 ○冬場の震災に備えて、アルミのシートを用意している。 	
沢地小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○昨年、建物の耐震工事を行った。タンクもある。子供が学校にいるときは安心である。 ○9月の防災訓練の前に地域の人と2回話し合いの場をもうけた。 ○3.11の時は子供たち全員学校にいた。保護者の引渡しが完了したのが19:30だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●『自らの命は自らで守る』ということを知りたい。子供たちに教えてほしい。(市長)
	<ul style="list-style-type: none"> ○家、学校以外のグリーゾーンにいるときが一番心配される。 	<ul style="list-style-type: none"> ○グリーゾーンにいるときを考慮した訓練を行いたい。 ○登下校の経路で震災が起こった場合、子供たちがどういった対応をしたらいかが学校で教えてほしい。(PTA)
沢地幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ○学区外から通園している子もいるので、その保護者は無事に迎えにこられるのかという問題がある。 ○引き取りに行ったほうがいいのか、預かってもらったほうがいいのかの的確な状況判断が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ある程度の期間、子供を預かる体制作りが必要である。
消防団	<ul style="list-style-type: none"> ○消防団は後方支援の役割を担っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各自主防の意見を尊重しながら支援できればよいと思っている。
全体	<ul style="list-style-type: none"> ◇防災訓練 ○地震の予知ができる場合と突発的なもの場合で訓練内容が変わってくる。(千枚原) ○防災訓練の取り組み以前に各自主防の組織自体がしっかりしているのかどうか問題である。(光ヶ丘1丁目) ○町内会で備蓄食料を用意し保管するのは無理である。(光ヶ丘1丁目) 	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会の配給に頼るのではなく、『自分の命は自分で守る』という考えのもとで、各家庭・個人での対策が基本となる。(体育振興会) ○実践に即した訓練が必要である。(小学校)

	<p>○法律で消火器の使用期限が10年になった。交換するのに莫大なお金がかかる。町内会ではまかないきれない。(光ヶ丘1丁目)</p>	<p>●新規で購入の場合、市で三分の二の補助を出している。訓練で使用した詰め替えの場合は全額補助を出すことになっている。消火器に関する細かい事項はこれから危機管理課で調整していきたい。(危機管理課)</p>
<p>◇地域の担い手育成</p>		
	<p>○サラリーマンで昼間は外に出ている人が多い。また、遠方まで通っている人もいるので、災害時には家に帰ってこられなくなるというケースもある。(富士見台)</p>	<p>○家に残っている子供やお年寄りが地域の力になるしかない。(富士見台)</p>
	<p>●高校生は県から防災訓練に参加しなさいと呼びかけがされている。(市長) ●中学生は部活がない生徒は参加するように言われている。(市長)</p>	<p>○子供を防災訓練に参加させるには子供のこういうことをやってほしいという意見を取り入れることが大切である。(体育振興会) ●中学生は立派な戦力となる。地域の人が積極的に迎え入れるようにしてほしい。(市長)</p>
<p>◇地域の連携</p>		
	<p>○8町内会でアンケートを実施し、みんな考えようという体制ができている。(光ヶ丘1丁目) ○各自治会でそれぞれが考えるだけでなく、校区全体でどうするか考える必要がある。水の問題など。(富士見台)</p>	<p>○8町内会でお金を出し合い、市から援助も出してもらって、沢地に井戸を何本か作りたい。(光ヶ丘1丁目) ○今後、8町内会で意見交換の場をもうける予定だ。(光ヶ丘1丁目)</p>